

# 日本の金属熱処理業について

---

I . 金属熱処理業の現状と今後

II . 世界的に見た強み

III . 今後、日本の金属熱処理業が目指す方向性

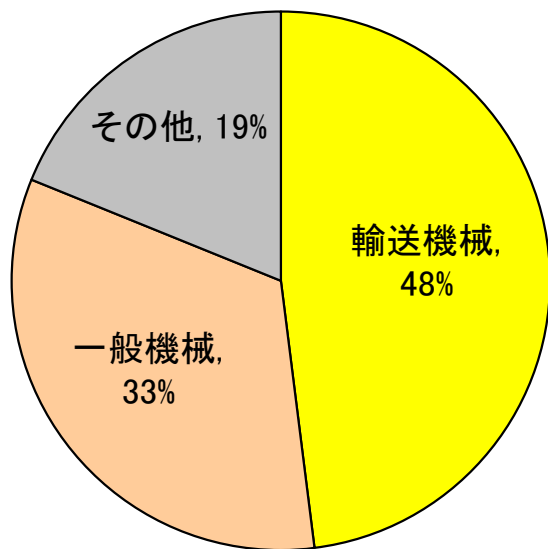
# I. 金属熱処理業の現状と今後

---

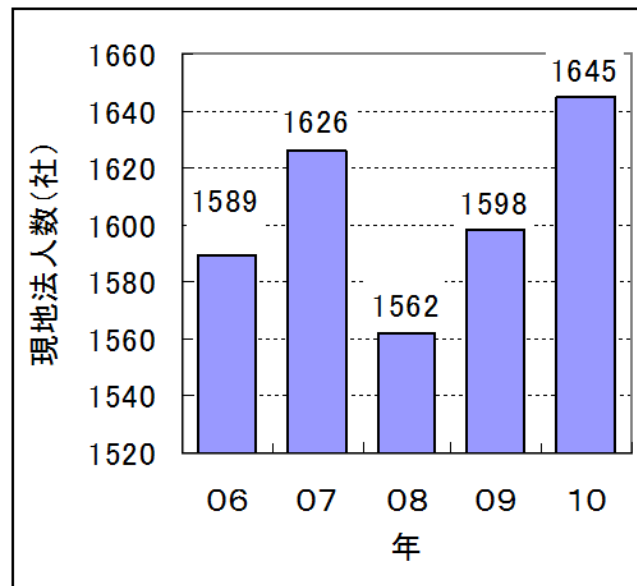
- ① 国内主要顧客の動向
- ② どれだけ国内に留まれるか
- ③ 海外進出の選択肢
- ④ 海外進出の進出状況

# I. 金属熱処理業の現状と今後

## ① 国内主要顧客の動向

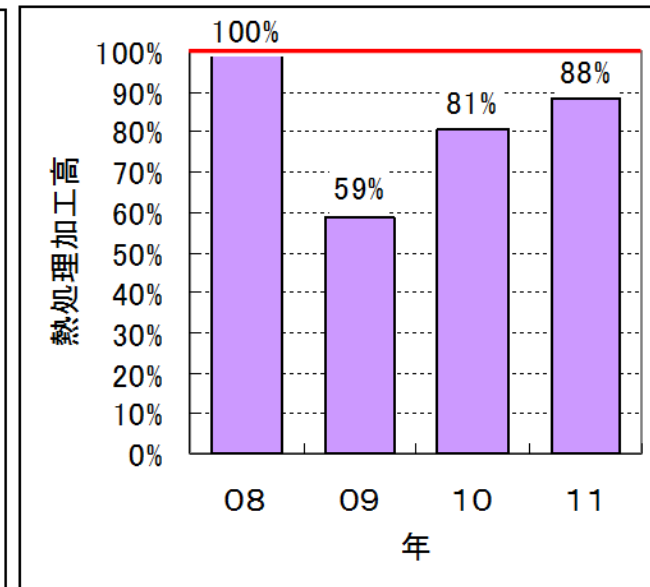


金属熱処理業の主要顧客



日本の自動車部品メーカーの  
海外進出状況

(日本自動車部品工業会  
2012発表 海外事業概要調査報告より )



過去4カ年の熱処理加工高

(日本金属熱処理工業会 加工月報より )

# I . 金属熱処理業の現状と今後

---

## ② どれだけ国内に留まれるか

- 技術・技能の差別化
- 前後工程の複合受注
- 同業との連携
- 開発・試作のスピーディーな対応力
- トータルのコストダウンの提案力
- 国内でのものづくりの環境維持、国への要望
- 強い生産現場の再評価

# I . 金属熱処理業の現状と今後

---

## ③ 海外進出の選択肢

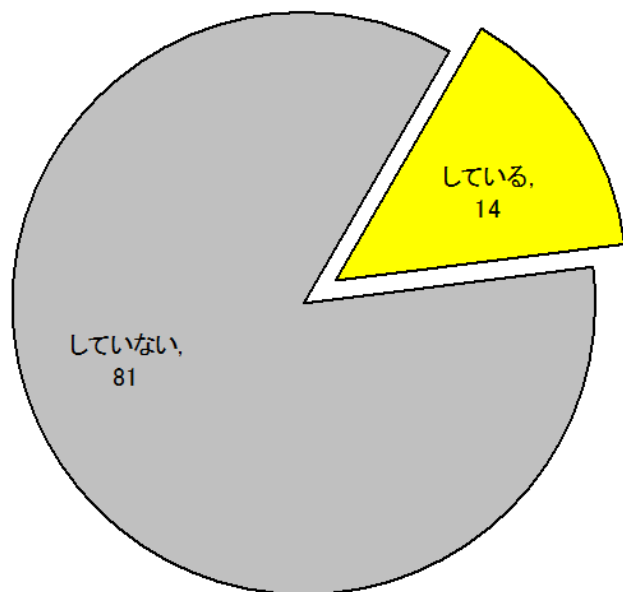
- 工場内外注
- 顧客の内製支援
- 信頼できる現地合弁パートナー
- 身の丈にあった計画
- 進出先の選定、カントリーリスク等

# I. 金属熱処理業の現状と今後

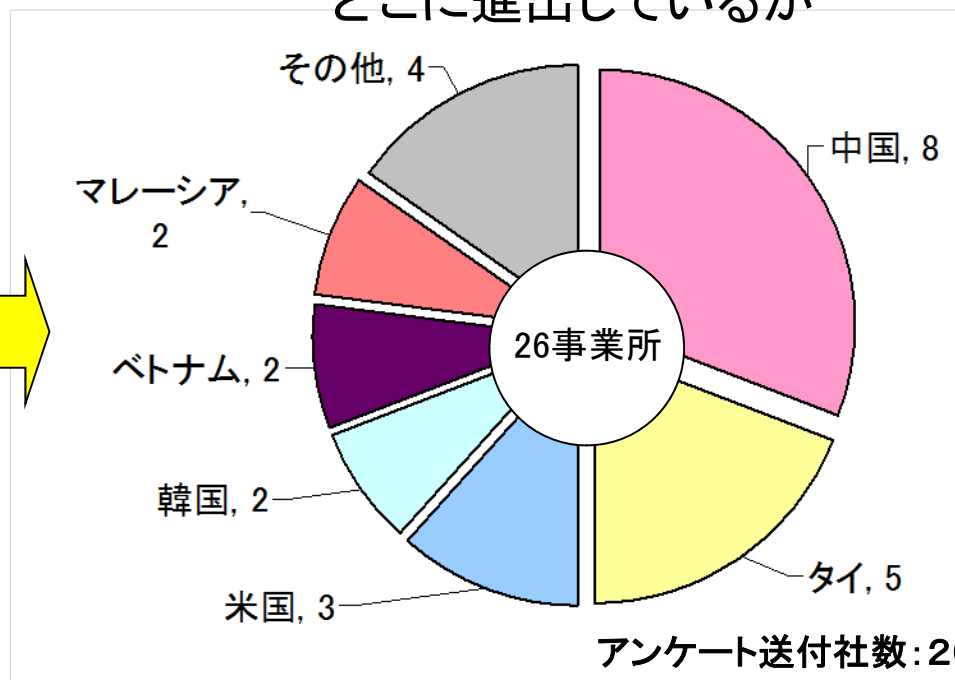
～進出状況アンケート集計結果～

## ④ 海外進出の進出状況

現状について  
海外に進出しているか



どこに進出しているか



アンケート送付社数: 200社

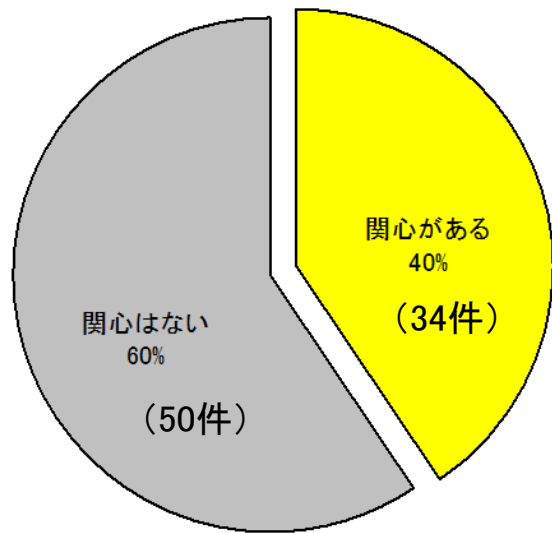
回答社数: 95社

# I. 金属熱処理業の現状と今後

～進出状況アンケート集計結果～

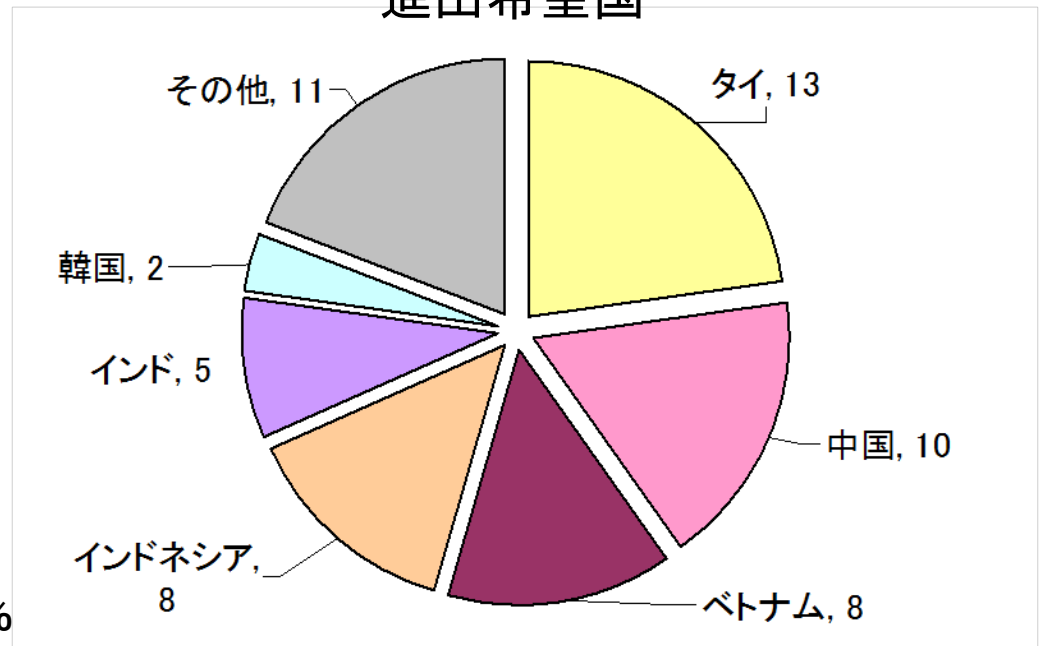
## ④ 海外進出の進出状況

今後について  
海外進出への関心



進出希望時期 数年以内・・・22%  
そのうち・・・78%

進出希望国

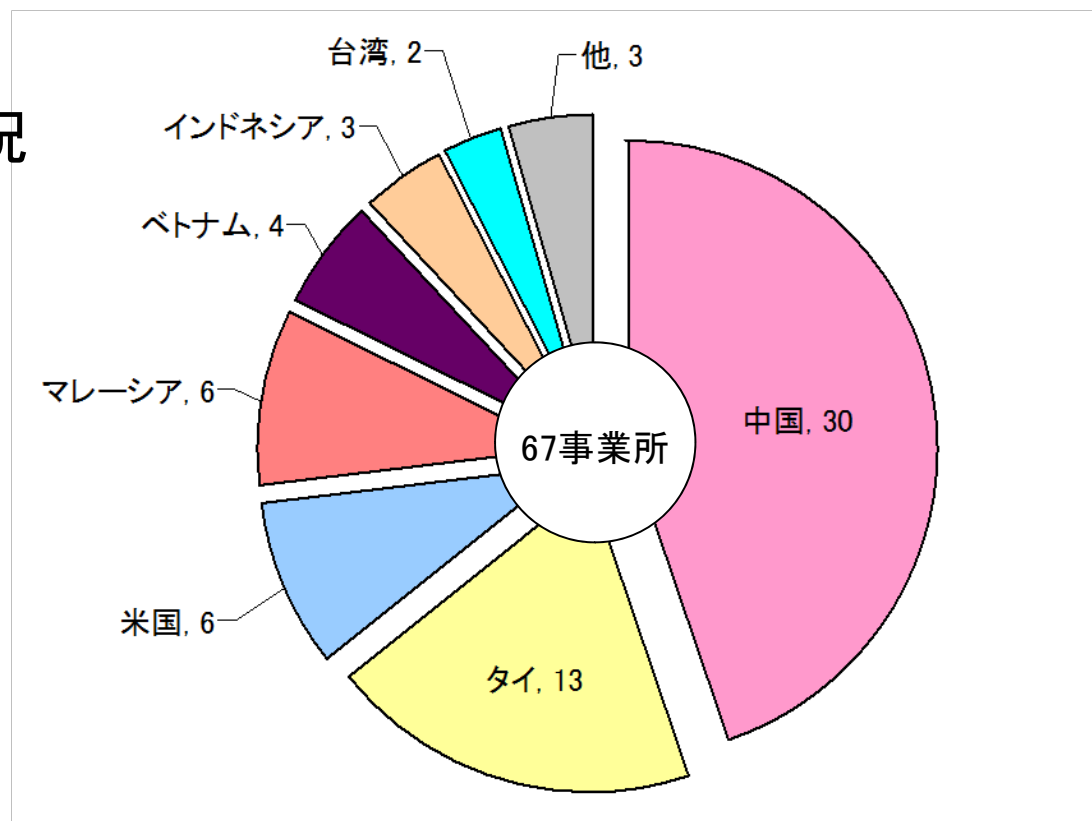


# I. 金属熱処理業の現状と今後

～進出状況アンケート集計結果～

## ④ 海外進出の進出状況

金属熱処理業の  
海外進出状況





# I . 金属熱処理業の現状と今後

---

～海外進出の留意点～

- ① 労務管理
- ② ジョブホッピングと  
ローカル人材のレベルアップ
- ③ 営業支援
- ④ 駐在員の交代要員

# I . 金属熱処理業の現状と今後

---

～海外進出の留意点～

## ① 労務管理

- 現地国の法規・文化・民族性を理解し、大幅な賃上げ・労使紛争に対応できる人材の確保。
- 日本本社支援と現地法人の自主性のバランス。

# I . 金属熱処理業の現状と今後

---

～海外進出の留意点～

## ② ジョブホッピングと ローカル人材のレベルアップ

- ワーカークラス  
勤怠及び成果で日本研修などのインセンティブを与え、ジョブホッピングを抑制。
- 管理者候補クラス  
将来の幹部としてのマネジメント能力向上の為研修プログラムが必要になる。

# I . 金属熱処理業の現状と今後

---

～海外進出の留意点～

## ③ 営業支援

- スタート時は日系企業の顧客開拓に日本本社からの支援が必要
- 現地の産業構造、商習慣を知っている現地の人材を登用する。
- 又は日系企業経験者とコンサル契約する方法も有効である。

# I . 金属熱処理業の現状と今後

---

## ④ 駐在員の交代要員

～海外進出の留意点～

### ➤ グローバル人材の養成

- ・熱処理技術
  - ・品質管理、保証
  - ・設備管理
  - ・経営管理、人事労務、営業の能力を有する人材
- } 能力を有する人材

### ➤ 交代要員の年齢的配慮

30代前半は家族帯同可能

40代後半は子供の受験、親の介護等がある。

## Ⅱ. 世界的に見た強み

---

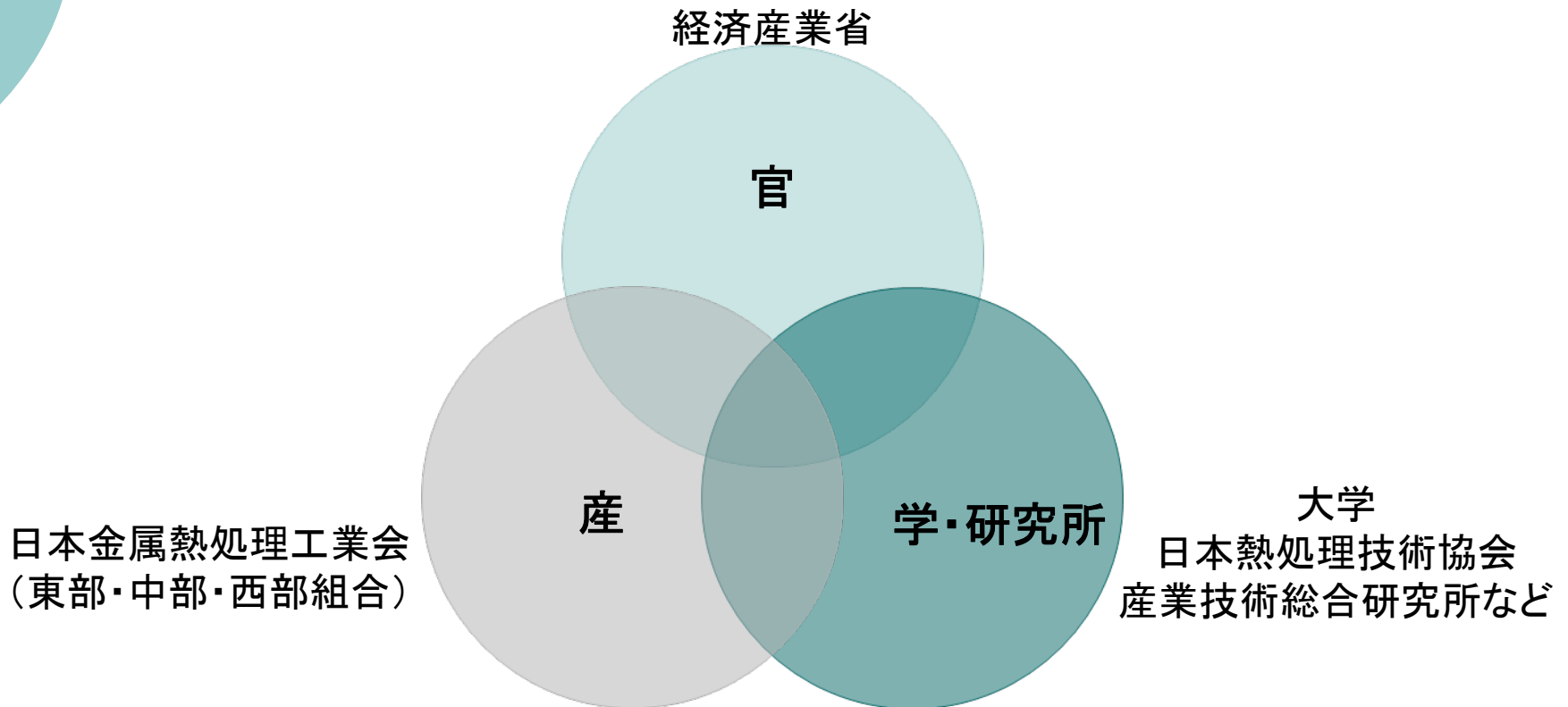
～世界的に見た日本の金属熱処理業の強み～

- ① 産・官・学の相互協力
- ② 国内主要顧客の高い品質要求
- ③ 業界の自主的人材育成
- ④ 技能検定制度の活用
- ⑤ 日本の金属熱処理設備メーカーとの連携

## Ⅱ. 世界的に見た強み

～世界的に見た日本の金属熱処理業の強み～

### ①産・官・学の相互協力



## Ⅱ．世界的に見た強み

---

～世界的に見た日本の金属熱処理業の強み～

### ② 国内主要顧客の高い要求品質

定期的な監査制度などで鍛えられ、品質、納期、コスト等のレベルが上がっている。  
世界的に見ても強みとなっている。

### ③ 業界の自主的な人材育成

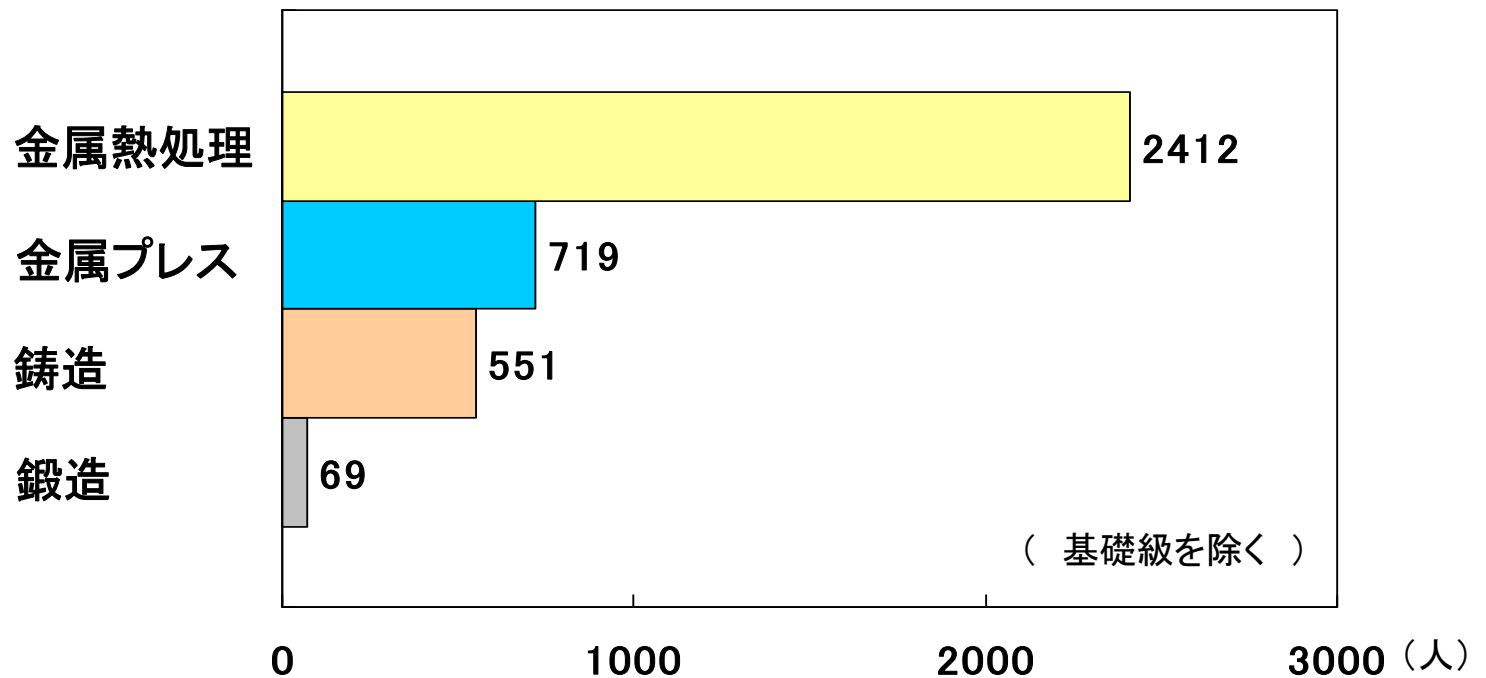
高専・大学における材料、金属等の学科減少により、企業入社後の人材育成に頼らざるを得ない。各組合で入門・初級・中堅・マイスター等層別した教育を実践。



## Ⅱ. 世界的に見た強み

～世界的に見た日本の金属熱処理業の強み～

### ④技能検定制度の活用 (2011年の合格者数)



(中央職業能力開発協会より)

## Ⅱ．世界的に見た強み

---

～世界的に見た日本の金属熱処理業の強み～

### ⑤日本の金属熱処理設備メーカーとの連携

世界的に見て日本の金属熱処理設備メーカーは、顧客の厳しい要求品質に応えてきた結果、高性能で長寿命なおかつ操作性に優れた設備を提供している

日本の金属熱処理設備メーカーの多くは、自社で熱処理加工工場を有しており、熱処理現場のニーズをいち早く把握し解決する能力がある

自動化技術、温度・雰囲気をはじめとする制御技術に優れ、より低コストで、高品質な熱処理加工の実現を可能とする

# Ⅲ. 今後、日本の金属熱処理業が目指す方向性

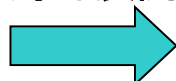
## <社会環境の趨勢>

- ・人口減少、国内需要の停滞
- ・アジア市場の拡大、取引先の海外移転

## <意識されない希少資産>

- ・供給余力としての国内企業の熱処理技術、ノウハウ、メンテナンス技能、リスク対応力
- ・現地オペレーションに反映

海外展開



直接投資

海外展開企業の雇用・事業の拡大

各企業の特徴・強み  
開発力、品質等の活用

国内生き残り



海外需要の取り込み  
新市場対応による国内事業の活性化

中小企業のハードル  
資金、販路、法制度、習慣等

政策支援等